



# 毎日の小さな工夫で 資源化・減量化

## 飛騨市でどのくらいのごみが出ているかご存じですか？

自然豊かできれいな飛騨市でも発生するごみ。

飛騨市のごみの量は、人口減少に比例して減っています。令和3年度には年間6,898トンのごみが出ており、1人あたり年間230kgを排出しています。

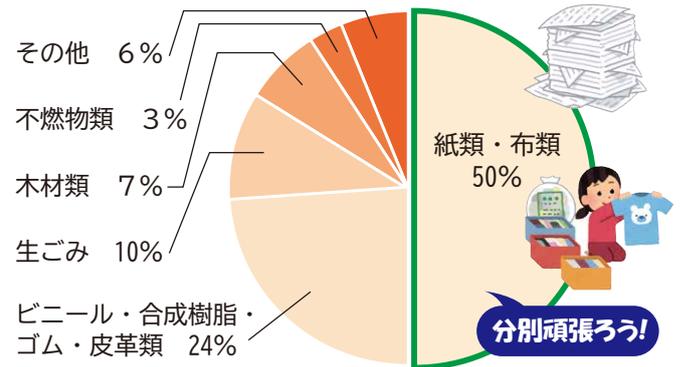
ごみが減ると、処理費用が抑えられます。燃やされたごみの灰は、お金を払って他県の処理施設へ引き取っていただいています。これは皆さんからの税金から支出されます。一方、資源化できる物を業者に買っていただくと市の貴重な収入となり、市の財政負担の軽減にもなります。

ごみの資源化は、環境負荷を軽くするだけでなく、財政負担、皆さんの家計の負担軽減につながっているのです。

家庭から出るごみのうち約75%が可燃ごみです。この可燃ごみを減らせば、さまざまな処理費を軽減できます。

可燃ごみの内訳は、紙類と衣類が最も多く、続いてビニールやペットボトルなどの合成樹脂類、食品廃棄物・生ごみが多い状況です。可燃ごみの中に大切な資源がたくさん入っています。このうち各家庭で取り組みやすい紙類と布類がカギになります。

市民の皆さんの毎日の工夫とちょっとした意識で資源化や減量化が可能です。



令和3年度の可燃ごみの内訳

**ごみの話題①**

ごみ袋の代金は「処分費」  
ごみを減らせば安くなります

処理費の約2割だけ皆さんに負担していただいています

可燃ごみ(大) 1袋あたり

**販売価格 52円**

---

**処理料 296円**

(収集運搬費・施設運営費・人件費等)

※1袋5kg計算

**ごみの話題②**

意外と知らないごみの出し方

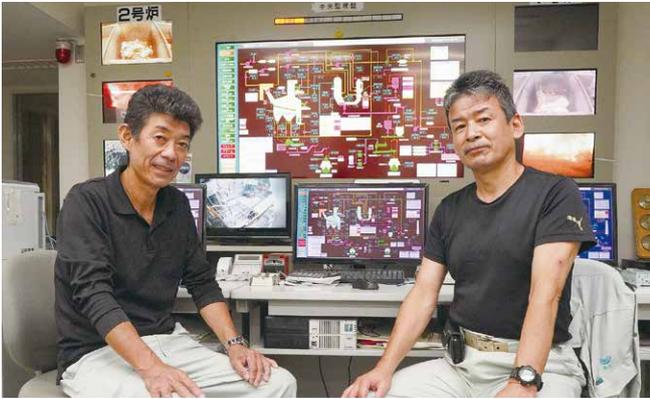
①学校や市からのプリント類は紙類へ  
ホチキスを外して、紙類専用ゴミ袋に入れて出してください。

②ヨーグルトカップの容器はプラスチック製容器包装、紙ラベルは剥がして紙マークがあれば紙類へ

③着物や帯は衣類へ  
市が設置する24時間資源回収ボックスに入れてください。

# 可燃ごみを出す前に、もう一度確認を！

飛騨市クリーンセンター 施設技師長 倉家茂彦



炉を管理している倉家施設技師長（左）と青垣衛生施設作業員（右）

ごみの焼却によって排出される有毒な排気ガスの濃度の値や、炉内の温度を計器によって監視し、異常を知らせる警告音が鳴った場合は薬剤を投入したり、送り込む空気や水の調整をするなどして、一定の基準値内に収めるよう対応する仕事をしています。

市の焼却ごみは減っていますが、それでも交替制で1日16時間をかけ、20～25トンを燃やします。毎年1～3月には炉の修繕があり、2つある炉のうち1つが使えなくなるため、この時期は日曜出勤などもしてフル稼働で対応にあたっています。

現場で困っているのは、可燃ごみへの異物の混入。特に燃え残る金物類は、機械を傷めたり、排出される有毒ガスが多くなる原因になります。

多いのは空き缶や家電製品、針金や金物のメジャーなどもあります。自動車のオイルエレメントが入っていたことも。スプレー缶が爆発して監視カメラが壊れる事故もありました。袋の外から見て分かれば取り除けますが、見えなければ、そのまま炉に入ってしまう。燃え残った物は、炉から灰を出す排出口を詰まらせるので、こまめにチェックして手作業で取り除きます。

家庭から出る物を可燃ごみとして出す前に、もう一度考えてみてください。弁当の空箱とか箸袋とか、可燃ごみとして出されれば燃えるごみですが、きれいであれば資源ごみ。焼却にはお金もかかっています。一人ひとりが心がけて、小さなことから意識してみてください。



可燃ごみから手選別で取り出した異物

**ごみの話題③**

## スプレー缶で事故の恐れ

廃スプレー缶などを出す場合、穴を開けてガス抜きをしていますか？時折、可燃ごみに紛れていて収集車の中で爆発・炎上する事故が全国で起きており、飛騨市でも焼却炉で爆発し、監視カメラを破壊した事故がありました。施設では、作業員が選別し、1つ1つ手作業で穴を開けて処理しています。こうした手間を少しでも減らし、安全な環境整備にご協力ください。



破裂



焼却炉のカメラ破損

事故

**ごみの話題④**

## リサイクルに取り組みやすい環境づくり

- 衣類の定期回収
 

市役所本庁舎・各振興事務所で2カ月に一度衣類の定期回収を行っています。衣類1kgでリサイクルポイントを1ポイント加算し、30ポイントでごみ袋1冊を進呈します。
- 子どものモノリユースひろば
 

使えるけど使わなくなった子ども用品を市民から提供いただき、必要な方に無料提供します。
- 24時間資源回収ボックス
 

下記の回収ボックスに衣類・新聞・雑誌・段ボール・紙パックをいつでも出せます。

  - ・古川町（若宮駐車場、袈裟丸研修センター前）
  - ・河合町（振興事務所） ・宮川町（宮川保健センター）
  - ・神岡町（振興事務所、旧山田保育園前）

## ごみカレンダーやアプリをこまめに確認を！

飛騨市リサイクルセンター 施設技師長 松葉健一



リサイクルセンターには、4町の一般家庭からの資源物が寄せられてきます。昨年度は重量換算でおよそ1,487トンが持ち込まれました。飛騨市では、細かく分別して資源化できるごみの量を増やす方針ですが、資源化できる物はまだまだ多くあります。分別に関する問い合わせも多いです。分からずに出してしまうよりも、一度尋ねてもらった方が助かります。

資源ごみは、リサイクル業者に引き取ってもらいますが、不純物が混じっていたり汚れていたりすると品質が悪いと買ってもらえません。実は、飛騨市のペットボトルは

品質が良いと有名で、ひっぱりだこ。皆さんの分別の効果が出ています。

困っているのは汚れたプラ容器、またペットボトルの汚れや透明びんの混入など。時には洗っていないレトルト食品のパウチ、発火の恐れのあるリチウムイオンバッテリーなども混じっています。

ペットボトルにマジックでお子さんの名前などが書いてある物や、ラベルや値札のはがし残しのある物も実は不可です。また、最近多いのはヨーグルトやヨーグルト飲料のカップの外装のはがし残し。新商品が出ると、分別方法も変わってきますので気をつけてください。

また、ごま油のびんは、さっと洗って中身がたれてこなければ「びん類」で出せます。

保健衛生カレンダーを改良したり、ごみの分別などを伝えるアプリの更新をしています。今一度カレンダーなどを確認していただきたいです。



ヨーグルトカップの外装はがしてください

### ごみ分別アプリ「さんあ〜る」

「さんあ〜る」は、スマートフォン用のアプリです。お住まいの地区を設定すると、それぞれの収集日をカレンダーで確認できます。

また、50音順の検索機能でごみの分別方法も確認できます。収集日をお知らせするアラーム通知機能もあります。アプリを使わない方はウェブ版を利用できます。

使い方は、市のホームページをご覧ください。



### ごみ減量の推進を図る「エコサポーター」を認定します

市内の家庭等から出されるごみの処理や、環境への負荷を低減させるには、市民や企業等の皆さんが、ごみの減量化に参加しやすい環境づくりが大切です。

市では、ごみの分別について分かりやすい研修を行い、率先して地域のごみ減量を推進していただく方を「エコサポーター」として独自に認定し、ごみの分別やリサイクル啓発に協力いただいています。

より多くの皆さんの参加をお待ちしています。

